

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学Ⅲ（胸部、内臓の構造・機能）		講義	三木 雪子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
聴覚音声言語障害に対するリハビリテーションを行う上で、基礎となる解剖、機能および病態を理解することは必須である。本講義では生命維持活動に関係する解剖、生理、病態について詳しく解説する。				
授業の到達目標				
血液、呼吸、消化吸収代謝に関する器官の構造、機能について理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	血液（１）： 構成と働き、血漿、赤血球			
2	血液（２）： 白血球、血小板、止血機構			
3	血液（３）： 血液凝固異常、血液型 生体防御系（１）： リンパ系			
4	生体防御系（２）： 防御関門、炎症反応、免疫反応			
5	生体防御系（３）： 免疫療法、免疫異常 呼吸器系（１）： 気道と肺、換気運動			
6	呼吸器系（２）： ガス交換、呼吸調節			
7	呼吸器系（３）： 呼吸の指標と異常 泌尿器系（１）： 腎臓の構造と働き、尿生成、尿路			
8	泌尿器系（２）： 排尿の仕組み、尿の性状 体液調節（１）： 体液区分、体液量、浸透圧			
9	体液調節（２）： p H調節 消化器系（１）： 消化と吸収、口腔－食道			
10	消化器系（２）： 胃、小腸の構造と働き			
11	消化器系（３）： 大腸の構造と働き、排便の仕組み、膵臓の構造と働き			
12	消化器系（４）： 肝臓の構造と働き 栄養、代謝： 三大栄養素、物質代謝			
13	エネルギー代謝、体温調節			
14	内分泌系（１）： 内分泌とは、視床下部と下垂体、松果体、甲状腺			
15	内分泌系（２）： 上皮小体、副腎、膵島、性腺（生殖器）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖		三木明徳	金芳堂	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
からだの構造と機能		A・シェフラー・S・シュミット	西村書店	
自由記載				
備考				